



目次	
社長メッセージ	1
事業紹介と概況	3
数字で見るラクト・ジャパン	3
ラクト・ジャパンの成長戦略	4
長期ビジョン	5
新中期経営計画	6
株主還元について	7
コミュニケーションのひろば	8
株主メモ	8

A Message from the President

社長メッセージ

創業25周年を迎え、ラクト・ジャパンは複合型食品企業へ

おかげさまで、2023年5月に、ラクト・ジャパンは創業25周年を迎えます。

これまで当社の事業活動にご理解とお力添えを賜りました、株主の皆さまをはじめとしたステークホルダーの皆さまに、心より御礼申し上げます。

当社ではこの先の25年を「第二の創業期」と認識しています。今後は、食品専門商社の枠にとどまらない「複合型食品企業」を目指し、皆さまの健康と豊かな生活に貢献してまいります。乳製品や食肉の輸入ビジネスにおいて常にチャレンジを続けることで積み重ねてきた知見・経験を礎に、未来への第一歩を踏み出すラクト・ジャパンに、さらなるご支援をいただければ幸いです。

株式会社ラクト・ジャパン
代表取締役社長

三浦元久

アジア事業と新規事業が牽引し 過去最高益を達成

2022年11月期連結会計年度(以下、当期)における当社の事業環境は、年度の初めはコロナ禍の影響があったものの、春以降の行動制限緩和により、外食・レジャー産業がようやく回復に向かい、乳製品の需要も復調傾向となりました。乳原料については国産脱脂粉乳の余剰在庫問題が続くなか、国際相場の上昇や円安の影響などで輸入販売事業にとっては厳しい事業環境となりましたが、チーズについては国産の在庫問題はなく、需要回復とともに販売も順調となりました。また、アジア事業においては、乳原料販売部門、チーズ製造販売部門とも東南アジア地域向けの販売が底堅く推移し、業績を下支えしたほか、新規事業である機能性食品原料事業も伸長しました。

これらの成果に円安と相場高の効果が加わり、当期の業績は、売上高が1,474億23百万円(前期比33.0%増)、経常利益が31億34百万円(同16.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は22億86百万円(同16.7%増)と、売上・利益ともに過去最高を更新いたしました。厳しい環境のなかでこうしたご報告ができますのも、柔軟性を旨とする当社の経営方針と、従業員一人ひとりの努力の賜と考えています。

先述のとおりコロナ禍の影響は払拭されつつありますが、好調な生乳生産と需要低迷を背景に積み上がった国産脱脂粉乳の余剰在庫は、依然として乳業界の課題となっています。足元では、生乳生産量の減少の兆しも見え、経済活動に伴う需要回復とあわせて在庫水準は徐々に適正化に向かう見込みです。ただし、今後も乳製品を含む食品の値上げが予想されますので、引き続き需要動向への影響を注視し、機動的に対応していきます。

代表取締役社長
みうらもとひさ
三浦 元久



「みらいを育む」 その思いを胸に 次世代の成長ステージへ

当社は、このたび創業25周年を迎えるにあたり、10年後のあるべき姿として、商社業と製造業を両輪とし、川上から川下までの機能を拡充した「複合型食品企業」として飛躍を図ることを決意しました。具体的な取り組みの例としては、当社の大きな柱に成長したアジアにおけるチーズ製造販売事業に加えて、機能性食品原料であるホエイプロテインにおいても、原料の輸入販売にとどまらず、レシピ開発に携わるなど最終製品の製造過程にも取り組んでまいります。

食品専門商社としての知見を生かし、原料の安定調達と価格優位性のある商品の提案に引き続き注力すると同時に、機能性食品原料を中心とした新材材を幅広く展開する新たな当社の姿にご期待ください。

また、今般、私たちは次世代を担う従業員を中心に議論を重ねて経営理念を新たにまとめ、コーポレートブランド「みらいを育む」を策定しました。▶ P4ご参照。この言葉には、私たちはまだまだ成長途上であるという意味を含めています。また、当社の未来を育むということだけでなく、私たちが深くかかわる酪農業の未来、アジア市場の未来、そして株主の皆さまや取引先などすべてのステークホルダーの皆さまの未来を共に育んでいきたいという想いを込めています。

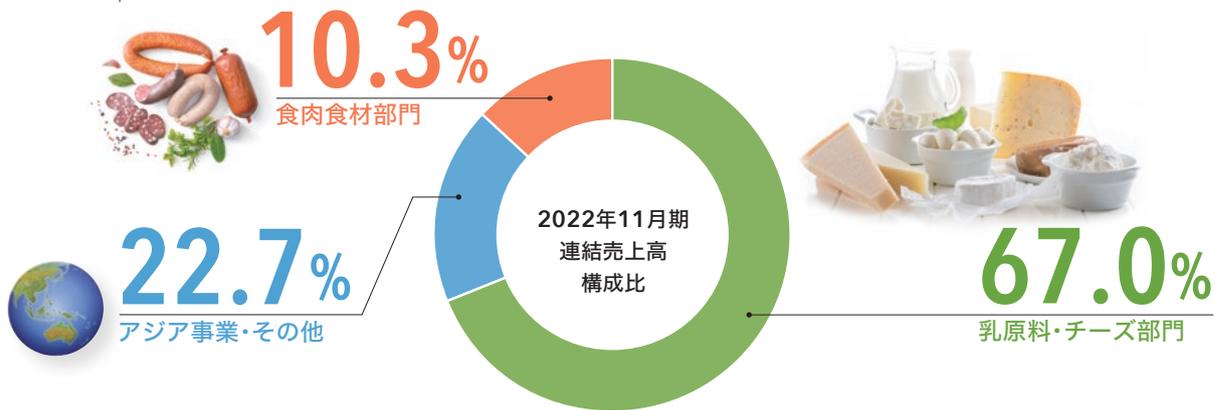
私は、今期に迎える25周年を「第二の創業期」のはじまりととらえています。株主の皆さまにおかれましては、未来へ向かって進化を続ける当社の歩みを見守っていただくとともに、さらなるご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。



⇒詳細な決算情報につきましては、
ホームページの「最新の決算のポイント」などをご参照ください。
<https://www.lactojapan.com/ja/ir/finance/point.html>



事業紹介と概況



乳原料・チーズ部門

海外から安全な乳原料やチーズを仕入れ、日本国内の乳業・菓子などの食品、飲料、飼料メーカー等に販売しています。

販売数量	182,957 トン	前期比	0.8%減
売上高	988 億 21 百万円	前期比	29.2%増

食肉食材部門

海外から豚肉および生ハム・サラミなどの加工品を仕入れ、国内の食品メーカー、卸売会社等へ販売しています。

販売数量	24,775 トン	前期比	3.6%減
売上高	151 億 35 百万円	前期比	6.0%増

アジア事業・その他

グローバルで調達した乳製品原料をアジア地域で販売するとともに、自社ブランドのチーズの製造販売も行っています。「その他」には、機能性食品原料の販売を含んでいます。

売上高	334 億 66 百万円	前期比	66.3%増
-----	--------------	-----	--------

乳原料販売部門

販売数量	50,423 トン	前期比	5.5%増
売上高	266 億 72 百万円	前期比	69.3%増

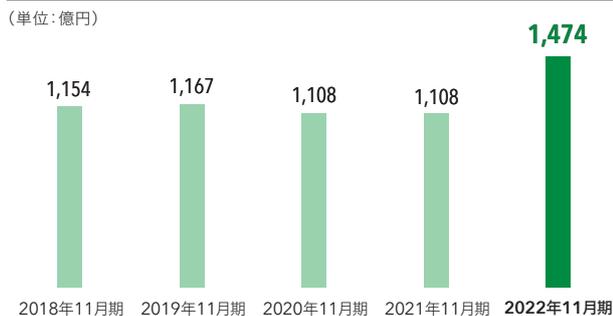
チーズ製造販売部門

販売数量	4,786 トン	前期比	3.3%増
売上高	39 億 84 百万円	前期比	19.9%増

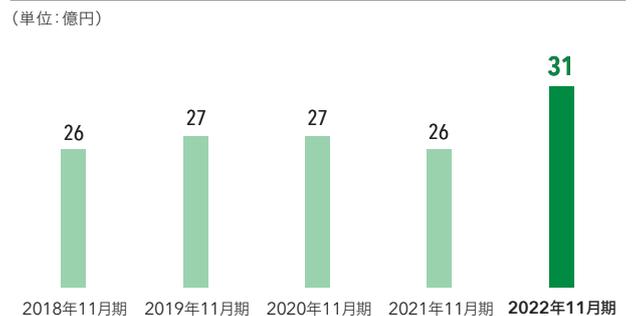
LACTO JAPAN in Numbers

数字で見るラクト・ジャパン

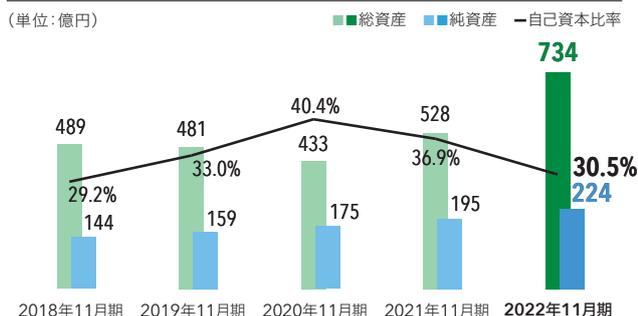
売上高



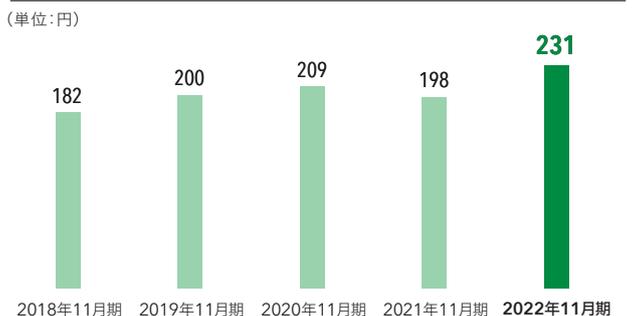
経常利益



総資産・純資産・自己資本比率



1株当たり当期純利益

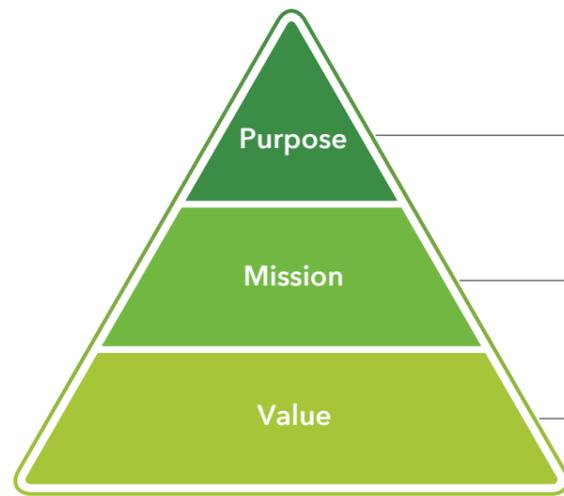


(注)「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を2019年11月期の期首から適用しており、2018年11月期の総資産についても遡及して修正しております。

(注)当社は、2019年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を遡及修正した数値を記載しております。

ラクト・ジャパンは2023年5月に創業25周年を迎えます。私たちはこれを「第二の創業期」ととらえ、新たな経営理念を策定しました。また、10年後の長期ビジョンと3か年の中期経営計画を作成し、これら新たな経営理念や中期経営計画などを総称するコーポレートブランドとして「みらいを育む」を策定しました。食を通じて人々の健康的な未来に貢献したい、その基盤である一次産業の未来に貢献したい、従業員、株主、取引先などのすべてのステークホルダーの豊かな未来を共に育んでいきたい、そのような想いを込めています。

コーポレートブランド
「みらいを育む」



■「第二の創業期」として新たな経営理念を策定

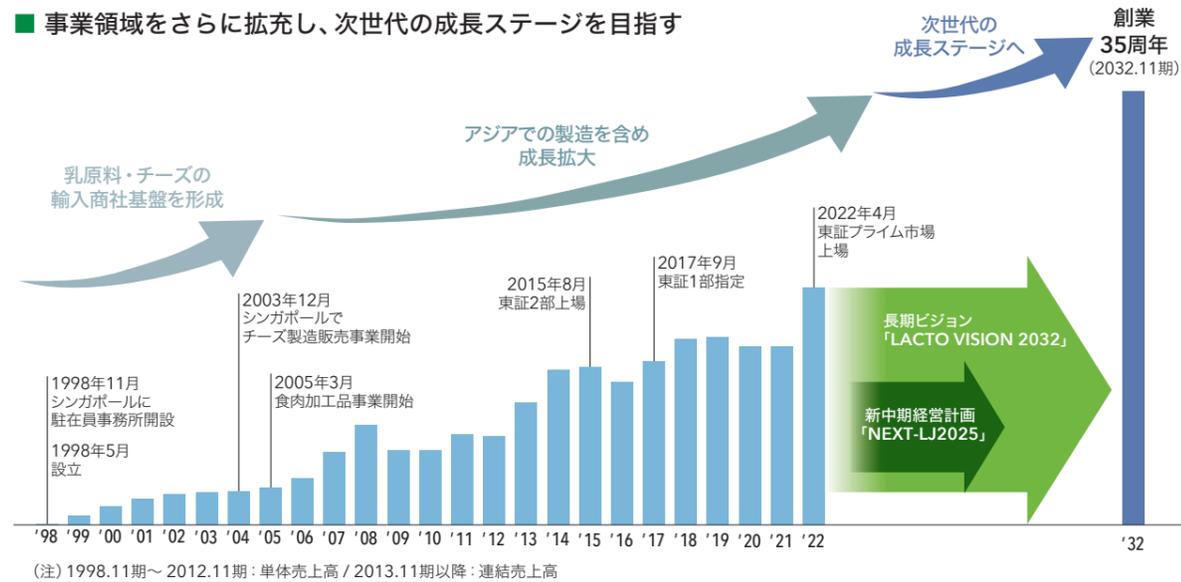
経営理念

パーパス (ありたい姿)
世界を食で繋ぎ、人々を健康に、そして笑顔にする

ミッション (未来に向けた使命)
食の基盤である一次産業の未来に貢献する
乳製品の新たな需要を創造する
ステークホルダーすべての豊かな生活を実現する

バリュー (大切にしている価値観)
フェアであれ

■ 事業領域をさらに拡充し、次世代の成長ステージを目指す



(注) 1998.11期～2012.11期：単体売上高 / 2013.11期以降：連結売上高

⇒長期ビジョンと新中期経営計画の詳細については、以下をご参照ください。
「長期ビジョンと中期経営計画」
https://www.lactojapan.com/ja/ir/management/plan/main/019/teaseritems1/011/linkList/0/link/230113-R03release_style2.pdf

長期ビジョン

「LACTO VISION 2032」

2023年11月期～2032年11月期

■ 長期ビジョン「LACTO VISION 2032」の概要

スローガン

1. 乳製品専門商社から複合型食品企業へ
2. 乳製品取扱高日本一、そして世界一へ
3. ベストマッチングで需要を創造、酪農・畜産業発展への貢献

計数目標

	2022年11月期 実績	2032年11月期 目標
連結経常利益	31億円	60億円
海外比率(連結経常利益ベース)	27%	40%
乳製品取扱高(グループ合計)	24万トン	45万トン

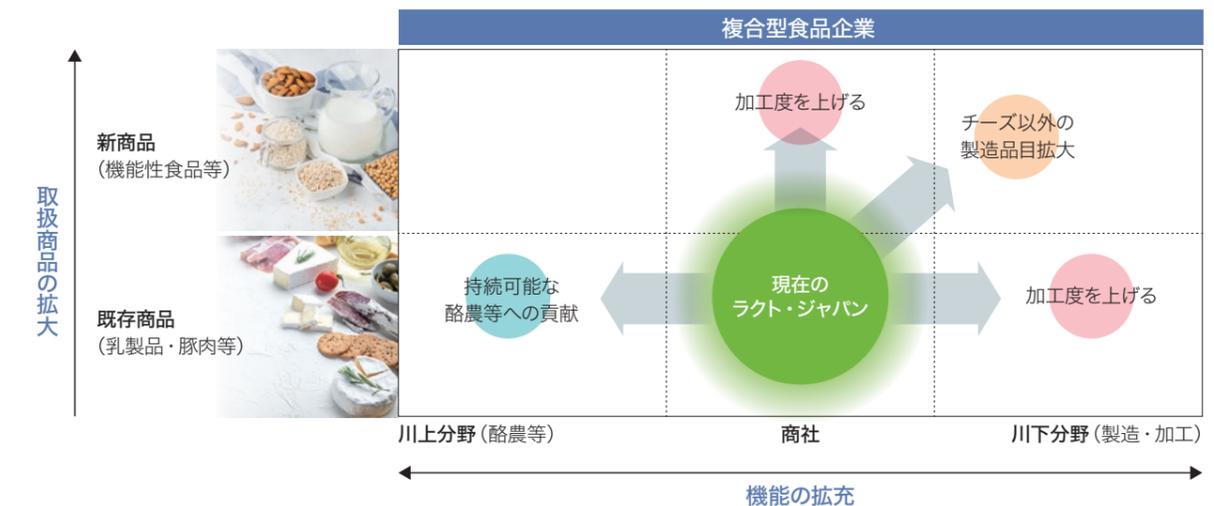
ESG目標

6つのマテリアリティを特定し、個別施策と定量目標(一部)を設定

6つのマテリアリティ	安心、安全な食の提供	健康的で豊かな生活への貢献
	持続可能な酪農・畜産業を通じた安定供給	気候変動への適応および環境負荷の軽減
	多様な人材が誇りを持って働ける職場づくり	ガバナンスの高度化

スローガン 複合型食品企業とは

複合型:「商品の幅を広げること」と「機能を拡充すること」の組み合わせ



新中期経営計画

「NEXT-LJ2025」

2023年11月期～2025年11月期

当社はこれまで毎年3年後の業績目標を掲げ、ローリング方式で中期経営計画を公表しておりましたが、今般作成した中期経営計画より、各期の業績目標を明示し、3か年ごとに計画を見直す固定方式に変更いたしました。各期の目標を明確化することで、計画の実効性を高め、確実な成長の原動力とすると同時に株主・投資家の皆さまとの対話を円滑なものにすることを目指しています。

基本方針

	Base 既存ビジネスの「進化」	Growth アジア事業の拡大	Challenge 次世代ビジネスの構築
事業成長	サプライソースの多様化による安定供給	チーズ製造販売事業の拡大	機能性食品をはじめとした新たな商材の開発
	ベストマッチングを生み出すコンサルティング営業	現地営業体制の強化 販売エリアの拡充	製造・加工の川下分野の拡充
	日本産食材の輸出	宗教や多様な食文化に対応した高付加価値製品の開発	酪農等の川上分野への関与
	M&A(海外トレーディングハウスの買収、同業他社の買収、事業提携等)		
経営基盤の強化	持続可能な酪農・畜産業への貢献 気候変動への適応および環境負荷を軽減するビジネス体制の構築		
	人材開発の強化 / ガバナンスの高度化 / 情報システム整備		

実績と目標

	2022年11月期 実績	2023年11月期 予想	2024年11月期 計画	2025年11月期 計画
連結売上高	1,474億円	1,600億円	1,800億円	2,000億円
連結経常利益	31億円	32億円	36億円	40億円
親会社株主に帰属する当期純利益	22億円	23億円	26億円	29億円

財務目標

	2022年11月期 実績	2025年11月期 計画
ROE	10.9%	➔ 10%以上
配当性向	17.3%	➔ 20~25%
連結自己資本比率	30.5%	➔ 30~35%

重点施策

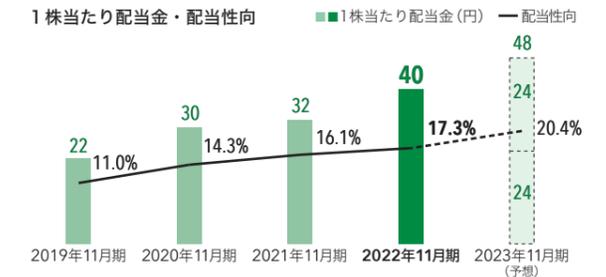
チーズ製造販売事業の拡大	アジアにおけるチーズ製造販売数量を10年後までに1.5万トンへ
機能性食品事業の展開加速	機能性食品事業を次世代ビジネスの柱とし「新たな成長エンジン」へ。提携・協業や輸出などの展開を加速
サプライソースの多様化	安定供給と気候変動問題に対応。食肉は調達先、調達品目の多様化により事業の多角化を実現
複合型食品企業	取扱商品の拡大、機能の拡充により複合型食品企業へと進化。加工度の高い商材を増やす

株主還元について

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要課題と位置付けています。このたび、2023年1月13日開催の取締役会において中間配当の実施を決議いたしました。

中間配当の実施について

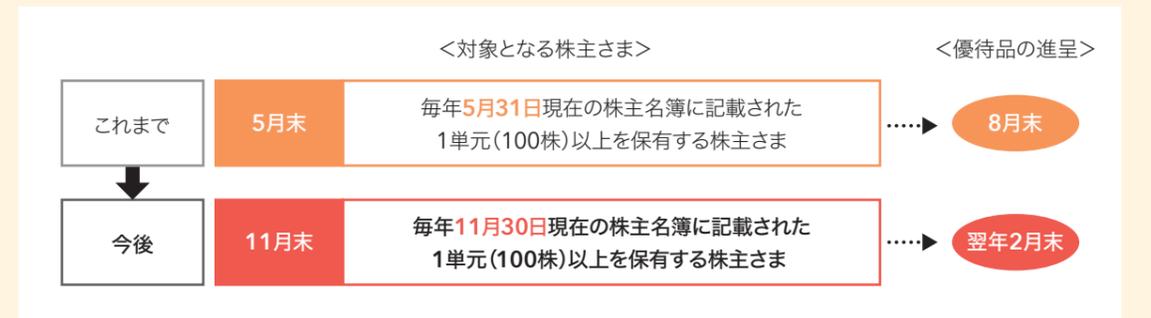
当社は、これまで剰余金の配当は、期末配当の年1回を基本的な方針としておりましたが、株主の皆さまに対して、経営成績に応じた利益還元の機会を充実させ、株式を継続して保有していただくことを目的として、中間配当と期末配当の年2回実施する方針に変更し、2023年11月期より中間配当を実施することといたしました。



(注)当社は、2019年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり配当金については、当該株式分割の影響を適正に修正した数値を記載しております。

株主優待制度の基準日変更について

2023年11月期より、株主優待の対象となる株主さまを確定する基準日を下記のとおり変更いたします。今年度の株主優待の対象は、2023年11月30日現在で株主名簿に記載のある株主さまとなります。なお、基準日以外の優待内容についての変更はございません。



株主優待に関するQ&A

Q. 2023年5月末で株主名簿に連続7回記載となり、長期保有優遇の対象株主となる予定です。2023年6月以降に保有株を売却しても、株主優待カタログを受け取ることができますか？

A. 今年度の株主優待の対象となる株主さまは、2023年11月30日時点の株主名簿にお名前のある株主さまです。2023年5月31日時点で株主名簿に連続7回記載があっても、その後、11月の権利確定日前に株式を売却されますと長期保有優遇の対象とはなりませんので、保有を継続していただきますよう、ご注意ください。

⇒詳細な株主優待情報につきましては、ホームページの「株主優待」をご参照ください
<https://www.lactojapan.com/ja/ir/about/benefit.html>

ホームページリニューアルのお知らせ



新たに策定した経営理念と長期ビジョンをふまえ、さらなる成長を指向するラクト・ジャパングループの意思をステークホルダーの皆さまにお伝えすることを目的とし、ホームページをリニューアルしました。

新ホームページでは、経営理念や長期ビジョンについてご理解を深めていただくためコンテンツ「目指す未来」を設けたほか、株主・投資家情報のサイトに中期経営計画についてのページも新設しました。また、「ラクト・ジャパントは」というコンテンツにおいて当社の事業内容や強み・特徴を詳しくご紹介しています。

ホームページはすべてのステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションの場として活用し、今後も充実した情報発信を心掛けてまいりますので、ぜひご期待ください。

サイトトップ



目指す未来



株主・投資家情報



ラクト・ジャパントは



同封しておりますアンケートにご協力いただいた株主さまの中から抽選で、QUOカード1,000円分をプレゼントいたします。また、WEBからのアンケート回答も可能です。右記のURLあるいはQRコードをお読み取りいただきアンケートにご協力をお願いします。なお、WEBでご回答いただいた方は、はがきの返送は不要です。

(当選者の発表は、QUOカードの発送をもって代えさせていただきます。)



アンケート URL: <https://forms.office.com/r/m4PpsyKvYk>

アンケート締切 2023年3月15日必着

Shareholders Information

株主メモ

事業年度 12月1日から翌年11月30日まで

基準日 11月30日
そのほか必要がある場合は、あらかじめ公示いたします。

単元株式数 100株

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

■ 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。

■ 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記の特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問合せください。なお、三井住友信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。



〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目11番2号
太陽生命日本橋ビル22F
TEL:0570-055-369



より詳細なIR情報は、当社ホームページをご確認ください
【株主・投資家情報】
<https://www.lactojapan.com/ja/ir.html>